

読書のすゝめ

その4 H29 4 / 17

本屋大賞発表！祝2冠！

祝！本屋大賞



恩田陸『蜂蜜と遠雷』が2017年度本屋大賞に決定しました。この作品は第156回直木賞（平成28年度下半期）受賞作で、今回の本屋大賞とダブル受賞になります。また、恩田さんは2005年に『夜のピクニック』で本屋大賞を受賞しており、2度目の受賞は初となる快挙です！

*ノミネートされた本の順位は次のとおり（図書館にすべてありますヨ）

- 2位『みかづき』森絵都
- 3位『罪の声』塩田武士
- 4位『ツバキ文具店』小川糸
- 5位『桜風堂ものがたり』村山早紀
- 6位『暗幕のゲルニカ』原田マハ
- 7位『i(アイ)』西加奈子
- 8位『夜行』森見登美彦
- 9位『コンビニ人間』村田沙耶香
- 10位『コーヒーが冷めないうちに』川口俊和

新任の先生紹介②

友部 右之先生（1年5組 副担任・地歴公民）

「空想非科学大全」

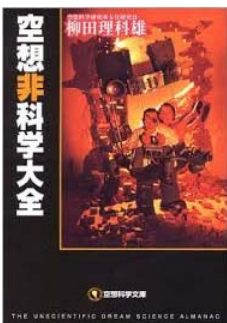
「いろはにほへと」

「四字熟語時辞典」

「ことわざ辞典」

「環境ホルモンを正しく知る本」

ほかにもいろいろあります。雑学が好きなんです。進学でも就職でも、頭の中のどこかにしまっておくと、意外に役立つんです。



川又 大輝先生（1年1組担任・保健体育）

『覚悟の磨き方』超訳：吉田松陰 編訳：池田貴将 サンクチュアリ出版

人生1度きりしかない。その人生の中で時代を変えた吉田松陰先生の思想が書かれています。

「こんな人生にしたい。こんな男になりたい。」
と思う言葉がたくさんあり、みなさんも是非参考にしてみてください。「平凡と非凡。」非凡な人生を選びたいものですね。



くさか 日下 里美 先生（1年1組 副担任・家庭福祉）
『西の魔女が死んだ』 梨木香歩

この本に出会ったのは皆さんと同じ高校生の頃でした。友達や進路のことなどに悩んでいたときに読み、とても感動し、今は辛いことがあっても前を向いて進もうと思わせてくれた一冊です。

この本では心が傷つき、疲れ、不安を抱える女の子が魔女の血を引く祖母と暮らすことをきっかけに生きる活力が湧き、成長していく姿を描いています。祖母の温かさに包まれながら魔女修行をするなかで、生と死、人との接し方、生き方、心のあり方について考えさせてくれます。このことは皆さんのこれらのヒントや参考にできるかもしれません。ページ数も多くなく、読みやすい本ですので、心がすこし疲れたかなと感じたときに手を取ってもらいたいです。

